

● ハアヴァド天文臺長新任

さきに一九一九年ピケリング氏逝去後、長く缺員のまゝであつた米國ハアヴァド天文臺長は、今般シヤブレレイ氏の新任を見るに至つた。氏は今までカリフォルニア州ウイイルソン山天文臺員として、ヘイル教授の下に働き、最近には星團の研究を成功して、宇宙の構造に新しい光を與へた人であるが、今年は三十七歳であるといふ。ハアヴァド大學が、さきのピケリング(臺長就任當時は僅か三十歳であつた)氏といひ、今のシヤブレレイ氏といひ、常に比較的年少新進の學者を招いて其の長とし、いつまでも若々しい活動をするのは、異さすべきである。

● リル天文臺の新裝

佛國リル(Lille)天文臺は、歐洲戰爭の始め、獨軍の襲ふ所となり、大小の望遠鏡を始めとして、書物等も大損害を蒙り、臺長ジョンケール氏は英國グリーンリチ天文臺に逃れて、暫く其所に寄寓し、觀測をつとけてゐたが、戰爭が終ると共に、同氏は豫備たる元の天文臺に歸り、其の後、日夜修復を急いだ結果、此の程全く修理を終り、十四時の赤道儀には電氣仕掛のドームを設くるなど、面目一新した由。ジョンケールは以前より、二重星の大家であるが、今後は此の新天文臺から、又續々新發見が發表せられることであらう。

質 疑 欄

【二】左記に對し御教示を願ひます

(Y M)

1 天體寫眞を撮るに當り最適の乾板及現像液種類(例はイルホードの赤札に没食現像)

2

特に赤道儀に取付くる爲めにレンズを選ぶ(有合せの寫眞機にて間に合はずのではなく)とすれば如何なる種類の如何なる焦點に結ぶものが良しきや

3

もし三吋望遠鏡を以て寫眞撮影の場合最も容易に然も相等効果のある方法(即ち實視用レンズを寫眞用に使用する事)

(答) 一、乾板は Speed 速寫用など使つてよい

でせう(太陽寫眞は例外とす) Ilford の赤札は日本では手に入りやすいやうですからそれでもよいでせう。(太陽はプロセスでも使つてごらんさい) 現像液はメトールハイドロキノンでいか

ど?、御記入の没食酸は或理由にて使はれぬ方よろしからむ

二、

目的で違ひますが、成るべく口径の大きな寫眞レンズを求められたらよいでせう。有合せの寫眞機でも目的によ

三、

つては、案外役立つこともありませう。

ポートレイト、レンズはずぶぶん役に立つかも知れませんが、御質問に「如何なる焦點」とありますが、焦點距離短いものは光の弱いものに用ゐてよろし三吋實視用望遠鏡は使ひ手の腕によつて有効に使へないでもありません。テイラー、クツクなどの上等レンズなら實視、寫眞兼用のがあります。天文で實視用レンズを寫眞用に轉するには寫眞用修正レンズを附加するか、又は Color filter を使ふか等しますが、素人の方に乾板に色をつけるのは一寸むつかしいので、どうから、實視用レンズで星の寫眞をつして見て、寫眞としての焦點はどの邊にあるとすれば一番像がはつきりするかを實驗した後、その焦點で寫してごらんさい。案外よいものがとれることはパーナードといふ専門家が、實視用望遠鏡を以て天體を撮影する素人向のことを説いた論文に例證があつてありますが茲には紹介できませんから略します。(一般に寫眞レンズよりも曝露時間長し)(K)